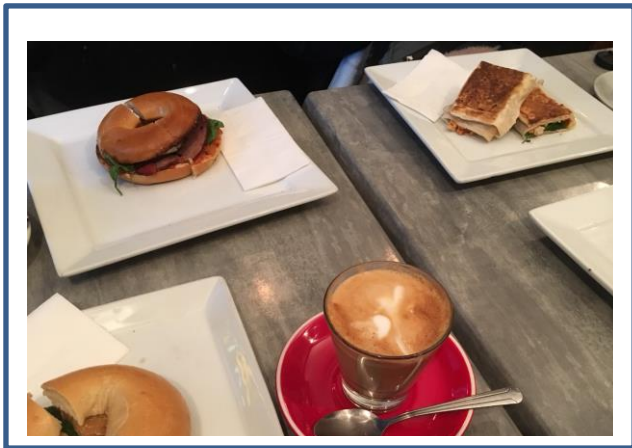


# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) A.T  
所属 (School) 生命環境科学域 応用生命科学類  
学年 (Grade) 2

留学先 (Name of overseas institution)  
Australia  
留学期間 (study abroad period)  
2018/8/10 ~2018/9/9

記入日 (Date) 2018年9月23日

## 留学レポート Study Abroad Report

1 か月間、オーストラリアの南に位置するメルボルンに行ってきました。オリエンテーションで Monash 大学のスタッフの方の話を聞いて、GPP はこれからの自分のキャリアパスを考えるのによい機会だと思い申し込みました。

### 【CLASS】

月から金まで 9:00 から 16:00 の授業がみっちり入っていました。また約 1 週間ごとにキャンパスが変わり 3 つのキャンパスで勉強することができました。最初はキャンパスまでの行き方、帰り方がわからず何度も google map と hostfather に助けられました。キャンパスに到着することが最初のミッションでした。

クラスメイトの半分は中国、マカオからの学生でした。彼らは私たちよりも早くプログラムがスタートしてたのではじめは授業の雰囲気になじむことが難しかったです。

授業ではオーストラリアでの就職活動の仕方、企業にどのように自分を売り込めばいいのかなどを学びました。まだ就職活動をしていないため、なじみのないトピックで難しかったです。他大学の学生と、これが 4 週間も続くのかと弱音を吐いたこともありました。

しかしほかの学生とプレゼンなどをしてコミュニケーションが取れるようになると、授業も楽しくなりました。このプログラムの中では現地で働いている人、環境をこの目で確かめ感じることができます。実際に大手企業 3 社に訪問させていただくことができました。どの企業も、社風に違いはあるもののワークライフバランスがあり残業などはないと聞きました。皆さんとてもフレンドリーでお忙しい時間の中たくさんの質問に答えてくださいました。またオーストラリアには多民族国家であるため、相手の文化を理解しリスペクトを忘れないことが働くうえで大切ということがわかりました。

理想のリーダー像とはどういうものなのか、チームワークをよくするためにどうすればいいかなど実際プロジェクトを実行しながら学びました。全員が斬新なアイデアや発言力を持っていることが必要なのではなく、そのアイデアを冷静に実行できるのか吟味したり、メンバーのフォーカスポイントがずれないように導く人も必要であることがわかりました。何度も、今最優先でやらないといけないことやゴールまでの道筋をみんな確認しました。またそれぞれのメンバーの性格を理解し、適材適所に配置することが大切であることを実感しました。



Work shop



immigration museum

### 【HOMESTAY】

私は中国出身でオーストラリアで働いている家庭に泊まらせていただきました。彼らも母国語が英語ではないため、私がうまく英語で言えないときの悔しくもどかしい気持ちなど理解してくれました。

オーストラリアでの働き方のことや、授業で習ったことについて話したりととても勉強になりました。遅刻し  
そうになった時や、バスや電車がいない時(休日には最寄り駅の line が全線ストップしてしてしまいます)に快  
く送ってくださりとても感謝しています。時には文化の違いで、びっくりすることもありましたがとても楽し  
い時間を過ごすことができました。オーストラリアの文化だけでなく中国の文化も学べて、勉強になりまし  
た。

#### 【SHIGHTSEEING】

土日は授業がなかったので友達と観光に行きました。メルボルンはコーヒーがとても有名なので、いたるところ  
にカフェがありました。物価は高いですがどれもおいしく優雅な気分になれました。店員さんもとても気さ  
くに話しかけてくれます。

市内には電車とバスを使って1時間弱で行けるのでよく遊びに行きました。多民族国家なのでいろんな国の  
料理がありました。中国料理、ギリシャ料理、イタリア料理などを食べました。どれもとてもおいしかったで  
す。チャイナタウンで食べた小籠包は忘れられません。(約6時間滞在した香港空港で小籠包を探し求めまし  
たが見つからなかったからかもしれません)

食べ物だけでなく景色もよかったです。市内の建物はヨーロッパの建築物のようでしたが、少し田舎に行くと  
広大な牧場やフィールドが広がっていました。St.KILDA というビーチに行ったり、メルボルンでもっとも  
有名といわれる great ocean road に行きました。日本では決して見られない景色で感動しました。またオ  
ーストラリアの大きさをこの目で感じることができました。



Great ocean road



Flinders street station 近くの教会

#### 【CONCLUSION】

誰も知り合いもない中、異国の地で過ごすことに大きな不安を抱いていましたが、日本では決して経験でき  
ない、とても濃い1か月間となりました。

GPP で出会った仲間たちから得た刺激は、今までの考え方やこれからの生き方を大きく変えました。また出  
会った仲間たちはしっかりと、自分の意見、考えを持っていて心から尊敬しました。特に授業でわからなかつ  
たことをわかりやすい単語で説明してくれた帰国子女の友達には何度も助けられました。最終週は日本人ば  
かりになりどうしても英語を話す機会が減っていく中で英語で話そうという雰囲気を作ってくれた友達、同  
じプロジェクトを乗り越えた友達、就職活動などまじめな話だけでなくふざけたことで盛り上がった友達に  
感謝しています。

最後に、貴重な体験とキャリアパスについて考える機会を与えてくれた MONASH 大学のスタッフのみなさん、  
何度も MONASH 大学と連絡を取りコーディネートしていただいた国際交流センターの方々、1か月間ず  
っと一緒にいてくださった府大の仲間には数え切れないほど感謝しています。



企業訪問



府大のメンバーと